



県社協  
県社協部会協議会  
各種団体の

# 動き



## 高齢者福祉協議会

中期ビジョンと事業計画に基づき、昨年に引き続き介護人材の確保や育成及び定着支援に向けた取り組みを進めています。

あわせて、平成27年度の介護保険制度の改正に向けて、会員事業所への的確な情報提供を行っていきます。

また、今後の大規模災害への備えとして、これまで議論を進めてきた「広域ブロック災害時相互支援協定」について、7月11日に調印式を行うとともに、災害時相互支援活動要領等について協議することとしています。

関係団体等の連携については、7月に岩手県長寿社会課との意見交換会、岩手県介護福祉士養成施設協会との意見交換会をそれぞれ行います。

委員会活動では現在、21世紀委員会による「岩手県高齢者福祉施設フォトコンテスト」の応募写真を受け付けています。

入賞作品の表彰は10月14・15日に開催する岩手県高齢者福祉研究会の際に行うとともに、高齢者福祉協議会主催の研修会や公共施設での展示を予定しています。

子ども子育て新制度が平成27年度より

保育協議会

9月25・26日に開催予定の「平成26年度岩手県保育指導者セミナー（兼北海道・東北ブロック正副会长会議）」では、全国保育協議会副会长をお招きして、新制度に関する基調説明をいただく予定です。

また、保育所（園）から認定こども園へ移行する会員施設に対応するために、制度政策委員会を中心に会員規定等見直しを検討していきます。

6月3・4日には県保育研究大会が開催され、24施設より熱心な発表がなされましたところですが、中期ビジョンに基づき保育所長部会・保育者部会等による研修会等の充実を図り、会員施設関係者の資質向上等に努めています。

6月3・4日には県保育研究大会が開催され、24施設より熱心な発表がなされましたところですが、中期ビジョンに基づき保育所長部会・保育者部会等による研修会等の充実を図り、会員施設関係者の資質向上等に努めています。

## 児童福祉施設協議会

児童養護施設・乳児院等会員14施設で構成する児童福祉施設協議会では、中期活動ビジョンを基本として、幹事会、専門委員会を中心に各種研修や事業に取組むこととしています。

福祉施設職員研修会（9月開催予定）では、各会員施設で抱えている課題、学びたいテーマを専門委員会で検討し、事例発表を交えながら、支援のヒントを得ることとしています。

施設間交流研修会（10月予定）では、新しい施設や家庭的養護に取組んでいる施設などの状況を確認し、それぞれの支援に活かすこととしています。

また、福祉の心を学ぶ研修会を今年度も開催しますが、今年は内容の一部見直しを行い、児童福祉施設の役割を広く周知し、理解出来るようなプログラムを検

施行予定であることを受け、保育協議会としても、本年度はその準備期間として、会員施設等に対し情報提供等のサポートを行っていきます。

本年度より会の名称を「岩手県児童館・放課後児童クラブ協議会」と変更しました。このことは、児童館から放課後児童クラブへ移行する会員施設が増加していることを受けたことによります。例年同様主催する研修会等についても、資格取得や資質向上を目的とし、児童健全育成関係者に対し参加を呼びかけ参ります。

また、昨年度実施した「平成25年度児童館部会会員施設現況調査」結果から導き出される、会員施設等が抱える課題等を精査し、県との情報交換の場を設けたいと考えています。

なお、平成23年に発足した「いわて子どもあそび隊」は本年度も活動を継続します。既に、宮古市・陸前高田市・大船渡市・野田村等の児童館等から多数活動依頼をいただいておりますので、関係者の皆様には、あそび隊活動メンバーの登録・協力をお願いいたします。

福祉施設職員の資質向上を目的に役職員研修会（12月）、地域生活支援セミナー（2月）等の研修会や各種部会を開催する他、今年度も引き続き、障がい福祉サービス復興支援事業や岩手県知的障害者福祉協会と連携し、会員事業及び障がい者本人への支援活動を展開します。

また、会員施設職員の資質向上を目的に役職員研修会（12月）、地域生活支援セミナー（2月）等の研修会や各種部会を開催する他、今年度も引き続き、障がい福祉サービス復興支援事業や岩手県知的障害者福祉協会と連携し、会員事業及び障がい者本人への支援活動を展開します。

※他の部会・協議会については7月号で引き続き紹介します

## 社会福祉法人経営者協議会

国の各種会議において、現在、社会福祉法人や福祉施設・事業所の在り方について、税制優遇されている社会福祉法人の経営の透明性の確保や説明責任の履行、地域貢献の積極的な実施等に関するさまざまな議論、指摘が相次いでいます。経営者協議会では情報提供やセミナー等の開催を通じて、国の動きや考え方を

的確に会員法人に周知していきます。

また、これらの意見、報告を踏まえ、ホームページ等で周知を行います。

岩手県における社会福祉法人の基本的課題を検討すると共に、経営者協議会の事業、組織等の在り方を検討することを目的に組織検討委員会を立ち上げ・検討を開始しました。

## 障がい者福祉協議会

平成26年度の主な取り組みとして、障がい者就労支援事業所の工賃向上のための販路拡大の一環として、ツルハドラップでの授産製品の常設販売を進めるとともに、「ナイスハートバザールinいわて」や「セルフフェア」を開催します。

あわせて、就労支援事業検討会において、いわて国体・障害者スポーツ大会での販売、オリジナル商品パックの検討等を進めています。

また、会員施設職員の資質向上を目的に役職員研修会（12月）、地域生活支援セミナー（2月）等の研修会や各種部会を開催する他、今年度も引き続き、障がい福祉サービス復興支援事業や岩手県知的障害者福祉協会と連携し、会員事業及び障がい者本人への支援活動を展開します。

### 新会長

児童福祉施設協議会

川島 達夫（ことりさわ学園園長）  
岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会

大上 和吉（普代村地域包括支援センター施設長）  
岩手県知的障がい者福祉協会

児童福祉施設協議会	川島 達夫（ことりさわ学園園長） 岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会
大上 和吉（普代村地域包括支援センター施設長） 岩手県知的障がい者福祉協会	
鷹狩 武寿（けやき学園）	